



01 | 丹波篠山市議会議員選挙、1267票で3位当選！ 応援いただきました皆様のおかげです

2024年4月21日に行われた丹波篠山市議会議員選挙にて、皆様のおかげをもちまして1267票で3位当選をさせていただきました。選挙中、たくさんの方から「これからは若い人に頑張ってもらわなあかん」と応援をいただきました。若者に対する期待が、今回の選挙の結果につながったのだと感じます。私自身も、最年少議員として、そういった期待に応えられるよう頑張っていきます。引き続き、活動に対する応援をよろしくお願いいたします。



02 | 本多紀元の政治活動の記録を お届けする「みろそ誌」

「議員は何をしているか分からない」という声をよく耳にします。私も実際に議員になるまで分からないことも多くありました。普段はSNS等で活動を発信させていただいておりますが、それだけだと情報発信が不十分で、未来創造支援団の皆様や地域の方々に、私の政治活動の記録をお届けしたいと思い、作成いたしました。議会があった月の翌月末ぐらいに、年4回発行を目標として定期的に発信させていただく予定です。真面目な情報誌だと誰にも読んでいただけないと思うので、少しでもユーモアも交えながら発信させていただきます。タイトルの「みろそ誌」は、「みらいそうぞうしえんだん」から文字を抜き取りました。なお、本誌の印刷から発信まですべて自腹です。

PROFILE

本多紀元 きげん (35)

1989年(平成元年)9月19日生まれ

経歴

2008年 篠山産業高校(機械科) 卒
2011年 大阪工業大学(情報科学部) 卒
2015年 株式会社いなかの窓 設立
2024年 丹波篠山市議会議員

所属

丹波篠山青年会議所(JC)
丹波篠山市商工会青年部
MENSA会員

地元の丹波篠山市に2015年にUターンで戻り、地域の魅力をIT(情報技術)の力で発信するために「株式会社いなかの窓」を起業。その後、様々な地域活動を行いながら丹波篠山市の発展に貢献する。

得意分野

- IT関連サービスの利用と開発
- ホームページ制作をはじめ、IT関連サービスを開発。ITの知識を活用し、AIの活用やDX推進を行っています。高齢者向けのスマホ講座も開催中。

教育活動

地元の小中高校等で講義を行ったり、PR活動を行っています。過去にはe-sportsを通じた交流や、アイデアソンなども実施。子どもたちと一番年齢に近い最年少議員として、若者の声を拾い上げ、市政に届けます。



03 | 桜の防虫駆除でびちゃびちゃ

2024年5月12日

2023年より会員になった商工会青年部にて、桜の防虫駆除を行いました。初体験だったので防虫剤の噴出方法が下手で、防虫剤が全身にかかってびちゃびちゃになってしまいました。私が虫だったらあの世行きでした。駆除中にカメムシが大量に落ちてきて、恐怖でしたが、こういった地道な活動によって、丹波篠山市の桜は守られているのだと感じた1日でした。



04 | 丹波篠山青年会議所創立55周年

2024年5月18日

2015年より所属している丹波篠山青年会議所が今年創立55周年を迎え、式典を開催しました。私は2023年度の理事長として、2023年に作成した中期ビジョンの発表をさせていただきました。来賓の方からは「良い式典だった」とお褒めいただき、大変ありがたかったです。これを現役会員13人でやったという凄さをもっとアピールしたいです。そしてもっと入会してください。お願いします。



05 | 篠山地区市民体育祭、来賓で参加

2024年5月19日

議員になって初めての来賓としてのご招待。篠山地区の大人や子どもたちが集って、たいへん盛り上がりおりました。来賓だからと意気込んでスーツで行ったのですが、たぶんスーツで参加したのは私一人だけでした。でも、北新町として玉入れや綱引きに参加させていただきました。スーツがどろどろになりました。



06 | 篠山城下まちづくり協議会通常総会

2024年6月5日

こちら来賓としてご招待いただき、参加させていただきました。しかも前であいさつをさせていただくタイプのご招待でした。会長や他の来賓の方々はユーモアも混ぜながら上手なあいさつをされていましたが、私は終始真面目なあいさつをさせていただきました!!!! もっと余裕のあるスピーチができるようにがんばります!!!!



07 | LINE講座開催

2024年6月22日

西紀中地区でLINE講座を開催しました。これまで、高齢者大学でスマホ講座もさせていただいておりますが、皆さん楽しく参加いただいております。歳を重ねても学び続ける姿は、私も勇気をもらえますね! 私も、回を重ねるたびに、分かりやすく丁寧に伝えられる技術が身につけてきている気がします。



08 | 味間小学校で授業のフィードバック

2024年7月5日

味間小学校の6年生が社会の授業で「ミニ市議会を開こう!」を11コマにわたって行った成果に対して、議員としてフィードバックをさせていただきました。ノリノリで聞いてくれる子もいて、とてもやりがいを感じました。子どもたちがこういった授業を通じて政治に興味を持ってくれるなんて、丹波篠山市の未来はきっと明るい!

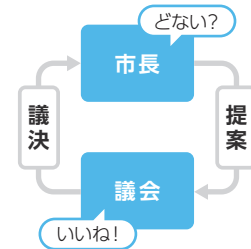


市議会ってどんな感じ？

みなさんは、市議会についてどれくらいご存知ですか？私も、そもそも最近市議会議員になったので、まだわからないことも多いですが、新鮮な視点で市議会について説明を試みたら面白いかなと思いましたので、赤裸々にお伝えします！

01 | 市議会の役割

地方自治体は「二元代表制」という仕組みで政治を考えていきます。市には2種類の市民の代表がいて、それが「市長」と「市議会」です。どちらも、市民からの投票で選ばれた人がなれます。市長は、予算や条例を提案するので、議会はそれを通すか通さないかを決めます。議会には18人の市議会議員がいるので、18人で多数決をとって、多い方を議会の意思としています。もし市長がとんでもない条例を提案したとしても、議会が「NO」といえば、通らないということになります。そうやって、地方自治のバランスが保たれています。



02 | 議会の開催

議会は基本的に年4回開催されます。開催時期は、6月、9月、12月、3月で、それぞれのタイミングで予算や条例、その他の議案について話し合いをします。丹波篠山市は「通年議会」を採用しているため、基本的にはいつでも議会を開催できます。また、YouTubeで議会の様子がライブ配信&アーカイブされているので、議会がどんな感じなのかを見ていただけます。「丹波篠山市議会」で検索してみてください。



丹波篠山市議会アカウント
YouTubeチャンネル

03 | 委員会ってなに？

議会の中には委員会という組織があります。議会はやることが多いので、その役割を委員会に分けることで、分担していく仕組みです。例えば、議会には「総務文教常任委員会」「産業建設常任委員会」「民生福祉常任委員会」という3つの常任委員会があります。議員は常任委員会のどこかに所属することになります。私は総務文教常任委員会に所属しています。この委員会では、市の総務系や教育系の予算を見たり、事務事業の評価をしたりします。他にも、「議会運営委員会」や「議会広報特別委員会」などもあり、希望者が所属できるものや、特定の役職を持っている人が所属するものなどがあります。私は議会広報特別委員会にも希望して所属しており、副委員長をしています。

Q & A 議員の活動についてお答えします！

- Q 年4回しか議会が開催されないとしたら、他の時間は何してるの？暇なの？**
A 委員会や、視察研修、地域の事業などへの参加などの活動がある他、勉強や調査研究などを行っています。時間の使い方は議員によっていろいろで、兼業を行いながら議員活動をされている方もいます。
- Q 市政について、議員にいろいろ言ってもいいの？**
A 1人の議員が何かを決められるかというとなかなか難しいのですが、市民の代表として、意見はしっかり受け止めます。ただ、実現できるかどうかは、内容次第なので、そもそも議会でどうにかできるものじゃない場合もあるので、難しいこともあります。いざというときは「請願権」を使うことで、みなさんの希望を、議員の紹介で行使することができます。
- Q 選挙のときはやたらお願いされたのに、受かったら全然なんもしてくれへんやん！**
A もしそう思われているなら、すみません！選挙期間中にしかできないことがあるので、選挙のときは盛大に活動できます。それ以外のときは地道に活動をするしかないなので、もし何かあったら気軽に呼んでください。
- Q 政務活動費でいろいろできるの？**
A 丹波篠山市の政務活動費は月2万円なので、ほぼ何もできません。この広報も議員の給料から出しているため、自腹です。

本多紀元の一般質問

? **一般質問**とは、議会のときに議員が市に対して行える、比較的自由的な発言の場です。比較的自由的なため、「質問」といっても、議員が実現したい政策などについての提案を同時に行うことができます。行うことができる、というか、一般質問の場ぐらいしか言える場がないので、議員にとって「最もはなやかで意義のある場」とされています。ここでは、今回私が6月の水無月会議で行った一般質問の内容をお伝えします。

DX推進計画の実施体制について

6月に行われた議会において、「DX推進計画における実施体制について」の質問を行いました。質問の内容の詳細は動画が公開されていますので、右のQRコードからご覧ください。



議会の様子が
チェックできます！

01 | DXってそもそも何？

「DX」とは、デジタルトランスフォーメーションの略で、日本語に訳すと「デジタルへの変革」という意味で捉えられます。よく「デジタル化」という言葉と「DX」の意味がごっちゃになってしまっていることもありますが、明確に違いがあります。「デジタル化」は、これまでのアナログな作業をデジタル技術にするもの。例えば、今まで経理を紙でやっていたけど、Excelを使って管理するようにしよう、というのはデジタル化です。一方で「DX」は、これからデジタル化が進んでいくから、人の意識や組織文化までデジタルに対しての意識を変えていこうというもの。例えば、デジタル化を進めるためにデジタル人材を雇用しよう、とか、AI活用の勉強会をやろう、とかそういうのがDXです。

02 | デジタル技術は「危険」か？

デジタル技術にはセキュリティが付きものです。よく個人情報漏洩とかクレジットカードの不正利用などの話がニュースに取り上げられたりしています。使うためには「リスク」があって、その対策方法がセキュリティになります。よく「デジタル技術は危ないから極力使わない」という声も聞きますが、私はそれこそ、これからの時代においては「危険な考え方」だと思います。例えば、自動車は本来、人を殺してしまう危険な道具です。しかし、道路交通法を設置し、道路を整備し、運転手には運転免許を必須にする、というルールを決めることで、安全で便利に自動車を使うことができます。デジタル技術も同様に、ルールを定め、使う人がしっかりとその技術について理解をしていくことで、安全で便利に使うことができるはずですよ。

03 | 自治体DX推進計画とは

国全体でDXを推進するために、総務省が「自治体DX推進計画」を策定しています。各自治体にDXを進めてもらうために、手順書や事例等を含めた計画が公開されており、丹波篠山市も例外なくこれに取り組んでいかなければなりません。前述の通り、DXは単なるデジタル化ではなく、人の意識や組織文化を変えていくものです。それは何のためかといえば、今後さらに発展していくであろうデジタル技術を安心安全かつ便利に使っていくためです。「丹波篠山DX推進計画」が丹波篠山市から公開されていますが、実際、DXのために重要なのは「組織の文化を変える」レベルの取り組みをしなければならず、そのためには市長が自らDXに対しての想いを持っている必要があります。そこで、私は今回の一般質問で「市長のDXに対する丹波篠山市のビジョンを聞かせてください」と質問をしました。

市は前向きに検討してくれそうです！
DXについての一般質問を行った結果、市からは前向きに検討してくれそうな回答をいただきました。今後の市の動きに期待です。

誰でもOK! 団員募集中

本多紀元と未来創造支援団は、本多紀元とともに丹波篠山市の未来を創造してくれる仲間を募集しています。



制作: 本多紀元と未来創造支援団
〒669-2344 兵庫県丹波篠山市西新町179
リトル丹波ビル西棟103号
☎079-558-7454 ✉info@hondakigen.com
🌐https://hondakigen.com/